

「2003年7月から2011年7月までに川崎医科大学附属病院で肺アスペルギルス症の診断で手術を施行した患者さんへのお知らせ」

2003年7月から2011年7月までに当院胸部心臓血管外科・呼吸器外科で肺アスペルギルス症の診断で手術を受けられた方を対象として、手術前後の抗真菌薬の投与と再発状況を比較検討して、術後の抗真菌薬の必要性に関しての研究を行っています。

現在、肺アスペルギルス症の手術前後の抗真菌薬投与に関しては、各施設の方針で行われているのが現状であり、その必要性については明らかではありません。本研究の目的は、肺アスペルギルス症の術後に抗真菌薬の投与が必要かどうかを検討し、今後肺アスペルギルス症で手術を行う方への不必要な抗真菌薬の投与を減らすことにあります。

本研究は診療記録（カルテ）やCTなどの画像および病理結果と術後再発の有無などの術後経過を調べ、術後の抗真菌薬の投与が再発予防として適切かどうかを検討します。この研究結果は、学会演題や学術論文として報告する予定ですが、患者さんの個人情報厳密に管理致します。疑問のある方は、御遠慮なく下記にお問い合わせください。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」場合にも下記の連絡先にお問い合わせください。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

なお、この研究は川崎医科大学同附属病院倫理委員会の審査・承認を得ておりますことを申し添えます。

この研究に対する説明を御希望の方は、下記の問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。
[問い合わせ先] 川崎医科大学 呼吸器外科学 中田 昌男

1. 電話：086-462-1111 内線 25519
2. FAX：086-464-1124
3. 電子メール：gts@med.kawasaki-m.ac.jp